

新宮市

正しく磨いて虫歯予防

城南中1年生が歯磨き講座



東淳司院長

新宮市立城南中学校（中田善夫校長）は9月27日、1年生65人を対象に歯磨き講座を開いた。同校学校歯科医の東淳司・東歯科医院長が「むし歯と歯肉炎の予防く上手な歯みがき」をテーマに話し、生徒らは虫歯のできる過程や正しい磨き方などを学んだ。

同校養護教諭の大井基恵さんが、県、全国平均

に比べ同校生徒らの虫歯率が高く治療率が低い現状を改善しようと東院長に依頼したことがきっかけで4年前から毎年開いている。

東院長は、虫歯や歯肉炎になる原因はプラーク（歯垢）の中にいる細菌であると説明。歯の病気を防ぐために自分でできる対策として▽歯磨き▽規則正しい生活▽歯に良い食べ物▽歯に良い食方を推奨した。歯科医と一緒にできることとして、自分に合った歯磨き指導と定期健康診断を挙げた。

歯ブラシの持ち方や磨き方にも触れた。生徒らは歯の汚れを見やすくする染め出し液を付け、鏡で確認すると「めっちゃ赤い」「なかなか取れない」などと言いながら、丁寧に歯を磨いた。

仮谷心さん（13）は「歯の磨き方など、工夫して取り組もうと改めて思いました。講座を通じて今まで以上に意識していきたい」。東院長は「手入れは毎日の積み重ね。自分でできることを実践し、歯を大事にしてもらえれば」と話していた。（榮本康人）

染め出し液を付け歯磨きする生徒ら＝9月27日、新宮市立城南中学校



※お通夜、告別式がお済みになった方についても掲載させていただいております。敬称略。